

平成 29 年度 第 6 回第 2 次安曇野市文化振興計画策定委員会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 会議名 | 平成 29 年度 第 6 回第 2 次安曇野市文化振興計画策定委員会 |
| 2 | 日 時 | 平成 30 年 1 月 31 日 午前 10 時から正午まで |
| 3 | 会 場 | 安曇野市役所本庁舎 3 階 会議室 306 |
| 4 | 出席者 | 笹本委員長、金井委員、伊澤委員、三好委員、片桐委員、古根委員、鈴木委員、山田委員 |
| 5 | 担当課出席者 | 山田教育部長、那須野文化課長、三澤文化振興係長、山下文化財保護係補佐、財津博物館係長、丸山文化振興係主事、堀文化振興係員、 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴人 | 0 人 記者 1 人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成 30 年 2 月 2 日 |

協 議 事 項 等

○会議の概要

- 1 開 会 (山田教育部長)
- 2 協 議
 - (1) 第 2 次安曇野市文化振興計画 (案) パブリックコメントの回答について
 - (2) その他
- 4 閉 会

○協議概要

(1) パブリックコメントの回答について

- 資料内容説明 (事務局)
- 委員からの意見

委員長 ・ 計画案を熟読した意見が提出されている。これに対して委員の皆さまからご意見があればお願いします。

委 員 ・ No.1 情報発信のありかたについて、フリーWi-fi の整備状況はどうか。若者や外国人に情報を届けようとするフリーWi-fi が必要ではないか？

・ No.4 について、平成表記は何年まで続くのか。

・ No.12 について、アンケートには平成 27 年度の調査方法は記載されているが、平成 21 年度調査について書かれていない。整合性をとってほしい。

・ No.18 大学のサテライトキャンパスについて、美術系・芸術系の大学とあるが、海外の大学との連携も視野に入れてはどうか。

事務局 ・ フリーWi-fi については、情報政策課の事業により、本庁舎 1 階、各支所、各地域公民館、交流学习センターに整備済み。今後は学校のほか、美術館などで整備を進めていく方針になっている。

・ 年号の表記については改元となるが、国の方針により計画上は“平成”とする。

・ アンケートについては印刷会社と調整し修正したい。

- ・ サテライトキャンパスについては、ご意見としてうかがっておく。
- 委員長 ・ フリーWi-fi はいろんな媒体で情報を拡散するためにも必要である。
- 委員 ・ そもそもこの会議の後、市議会の審議等で修正があるのか。
- 事務局 ・ 修正は今回が最後。議会には完成した計画書を提出して報告とする。
- 委員 ・ 計画案の各章について意見を述べてもよいか。
- 委員長 ・ 今までの会議で作りに上げた計画案を前提として、パブリックコメントを実施した。今回はパブリックコメントについての論議とする。
- 委員 ・ 各章については大きな変更はせず、誤字脱字等の修正にとどめたい。
- 委員 ・ 計画案3頁の(2)、「4次までに渡って定められた～」とあるが、「まで」はいらぬのではないか。また「渡って」は漢字が異なっている。
- ・ 23頁の『先人の顕彰』に「～高齢化が進んでいます。」とあるが、現状が書かれているだけになっている。ほかにも同様の個所がある。
- ・ 28頁の『市民活動の育成支援』に「～イベントの固定化が課題となっています。」とあるが、意味がわかりづらい。
- ・ 33頁の『多様な文化との交流』に「外国語パンフレットを作成し～」とあるが、パンフレットだけでなくインターネット等で広範囲に情報発信することが大事。
- ・ 37頁、計画の進行管理について、どこが主体となって進めるのか、具体的に明記してほしい。
- 事務局 ・ 現状、課題を受けて、その下に取り組み方針や施策例を示している。
- ・ インターネットの対応については33頁取り組み方針①に記載している。
- ・ 進行管理については、その時々で必要に応じて体制を整え行うため、具体的には明記しない。
- 委員長 ・ 文化振興計画は市だけではなく、私たち委員も議論して策定したもので、我々も都度確認していきたい。
- 委員 ・ パブリックコメントは市民にどこまで届いているのか。完成した計画についても、にどうやって伝えていくのか。
- 事務局 ・ ご指摘のとおり、提出意見数が26件とすべての市民に届いているかは疑問である。市では同時期に複数の計画案についてパブリックコメントを募集しているが、中には提出意見が0件の計画案もあるので、文化振興計画は関心がもたれている方だと思う。
- ・ 完成した計画については、博物館協議会や関連施設・団体などに周知し、またさらなる周知への協力を求めている。
- ・ 市長からも「パブリックコメントだけでいいのか」という指摘を受けている。市民に周知するためにホームページを利用したり、説明会を開くなど、こちらから出向くことが必要だと思う。

- 委員長 ・ 計画を具現化・浸透させ、市がどんなことをしているのか知ってもらうことが大事。今後は私も周知に協力したい。
- 委員 ・ No.16 や 17 のように、全体についての意見・要望への回答には、頁番号を入れて分かりやすくしてほしい。
- 委員 ・ No.9 の回答について、「私立の文化施設が複数あり、広報誌への情報掲載は難しい～」とあるが、教育委員会が HP を立ち上げて民間のイベント等の情報提供を行ってはどうか。
- ・ 計画案 23 頁、先人だけではなく現在活躍している文化活動のグループなどを紹介、表彰したりすることが重要である。
 - ・ 写真について、『空撮した安曇野』はどこで撮影したか明記してほしい。
 - ・ 11 頁の『信州サーモン』は『清流』の写真と対応していると言えるのか。
 - ・ 15 頁『田植えの風景』『やしょうま』の写真は大きさを修正してほしい。
 - ・ 45 頁のお船祭りの表記について、「穂高神社の御船祭り」ではオフネそのものを指すときは「お船」としていると思うがどうか。
- 事務局 ・ 現在活躍している人物の表彰や支援については、23 頁の取り組み③に盛り込んでいる。
- ・ 民間のイベントについては共催事業のほか、美術館博物館連携事業、安曇野アートライン等で情報発信をしている。
 - ・ “お船”の表記については、文化財に指定したときに地元の方々と協議して決めている。ここでは文化財の名称で統一したい。
- 委員 ・ 計画案 23 頁の施策 1 に「明るい安曇野を創造します」とあるが、「次代の安曇野を～」としてはどうか。
- ・ 31 頁の『ボランティアの育成』に「ボランティアの育成、活用を行って～」とあるが、“活用”とするのはあまりよくない。「ボランティアを育成し、支援によって行って～」としてはどうか。
 - ・ 32 頁の『安曇野文化財団の活性化』に「収蔵庫の公開などを行って～」とあるが、収蔵庫を常時開放しているようにとれる。「収蔵庫の特別公開～」などと表記してはどうか。
 - ・ 33 頁の『商業・観光との連携』について、「来訪者のとり込みについて～」とあるが、“とり込み”という表現に違和感がある。
- 委員長 ・ 本来、収蔵庫は非公開のはずではないか。
- 事務局 ・ 収蔵庫については基本的に非公開で、事前に希望があった場合に限り、一部を見学できるように整備してある。
- 委員 ・ 15 頁の『天蚕糸と着物』の写真について、着物は天蚕糸を使ったものであれば特別な呼称があるのではないか。確認していただきたい。
- ・ 31 頁の『芸術家の育成支援』について、音楽・写真・工芸の 3 分野に限

定しないように、表記を修正してほしい。

- ・ 33 頁の『友好都市との文化交流の促進』に、「～展覧会などを行ってきました。」とあるが、事業はもう終了したのか。もし継続しているのなら修正した方がよいと思う。

- 事務局
- ・ 現状公募事業を行っているのが音楽・写真・工芸の3分野ということである。今後はこれら以外の芸術分野にも広げていきたい。
 - ・ 着物の名称等については関係各署に確認する。

- 委員
- ・ 今後の施策について、もう少し具体的な文言にできないか。市民が完成した計画を見た時に、これからどう実現するのか疑問に思うのではないか。

- 事務局
- ・ この計画書は、10 年間事業を進めていく中での根拠となるものなので、個別具体的なことを記すのではなく、全体的に漏れのない計画書にすることをご了解いただきたい。

- 委員長
- ・ 取り組み方針が具体的すぎると、事業を実施したいときに逆に縛りになってしまう。

- 委員
- ・ 4 頁の市民アンケートについて、もう少し詳細に分析してほしい。

- 事務局
- ・ このグラフは色々な見方があるが、一言で言うと「施設は大体整ったと市民は思っている」ととれる。今後はこの施設をいかに活用していくか、というソフト面での充実が大切である。

- 委員長
- ・ この計画に基づき、最終的に市民がより心豊かに暮らせるようにすることが一番大切であり、ソフト面の充実は重要であると思う。

- 委員
- ・ 4 頁のアンケートには「施設は整備されているが、使いやすくないので活動する施設がない」ととれる部分もある。それを重要視して頂きたい。

- ・ 34 頁のアンケートでは関心のある催し物、活動がないという意見が多い。不満があるということを真剣に受け止めて対応を考えていただきたい。

- ・ 26 頁『運営方法の見直し』の中で、「指定管理の導入または直営化など～」とあるが、指定管理にすべく見直していくのか、導入することを見直すのか、わかりやすく修正してほしい。

- ・ 『特色ある事業運営』についても、外部に委託して運営していくのなら専門家を育成することは不要ではないか。

- 事務局
- ・ その時々々の状況や実施すべき事業によって、適切な管理運営体制は異なる。現在の指定管理施設には、館の運営だけではない独自の取り組みを期待している。文言は必要に応じて修正したい。

- 委員
- ・ 豊科公民館ホールを利用しているがプロジェクターやスクリーンがない。整備するときには市民や専門家の意見を聞いてほしい。

- 事務局
- ・ 「使いにくい」という声は常にあがっている。25 頁の施策1の中で「～施設の目的に沿った整備と充実を図ります。」としているので、各施設の改

善については今後検討していきたい。

委員 ・ 写真でひなまつりや花火の写真があるが、安曇野市以外の全国で開催されているが、掲載写真としてふさわしいのか。

事務局 ・ 民俗とは人の暮らしそのものであり、時代ごとに変化し、広がっていくものである。一般的な行事でも、私たちの暮らしにかかわりの深い写真として掲載している。

委員長 ・ この策定委員会での議論をまとめ、これだけの素晴らしい計画案を作っていただいた市へお礼を申し上げたい。では事務局へ引き継ぎます。

(2) その他

事務局 ・ 当委員会の会議は今回で最後となる。委員の皆さまは大変お疲れ様でした。
・ 計画案が修正できたらお送りする。委員の皆さまの確認を持って完成としたい。

以上

会議概要は、原則として公開します。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。